



コンサ、啓北、広陵、中富良野が8強へ！ 第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月18日(土)にグループリーグ最終節が行われました。グループAでは、コンサドーレ旭川が附属に大勝し、前評判通り1位で勝ち抜けました。得失点差の争いになった2位争いは、啓北がパステークを破ったために、附属を上回り決勝トーナメント進出を決めました。グループBではすでに1位抜けを決めている広陵に続いて、直接対決で勝利を飾った中富良野が、2位の座を獲得しました。

8月18日(土) 神楽中学校

A 啓北 2 - 0 (1 - 0) パステーク

得点者 山内(17分, 27分)(啓)

啓北 GK石田 DF酒井, 高橋竣, 秋島, 干場 MF笠原, 茂木, 保田, 池田
FW藤原, 山内 交替/GK永井 FP藤村, 斉藤, 西根

パステーク GK瀧本 DF佐藤和, 月岡, 杉本, 松本, 大家 MF高橋, 長根, 室谷
FW牧野, 田中 交替/FP中村, 菊地, 堀井

啓北は、茂木の中盤での展開から池田、笠原のサイド攻撃をしかける。また、前線では山内が積極的にボールを受け、攻撃の起点となる。一方パステークは、長根を中心にFW田中のスピードを生かして、啓北陣内に攻め込むが、秋島、高橋竣のCBに抑え込まれる。17分啓北はペナルティエリア外でボールを受けた山内がドリブルで突破し、そのまま左足でシュート。ゴール右隅に決まって先制する。後半、運動量の落ちてきた啓北にパステークは牧野、長根がゴールに迫るが、途中出場のGK永井もよく守る。57分啓北はFKを藤原が素速くリスタート。フリーで受けた山内がGKの動きをよく見て、ループシュートを決め2対0で勝利した。

コンサフィールド東川

A コンサドーレ旭川 11 - 0 (4 - 0) 附属

得点者 前田(1分, 6分, 19分), 宮本(29分), 石岡(34分, 54分, 55分),
山田海(37分), 小澤(44分, 52分), 山室(50分)(コ)

警告 加藤(附)

コンサ GK宮崎 DF大沼, 河本, 那須, 大野 MF宮本, 越川, 山田陽, 山田海
FW前田, 山室 交替/志摩, 石岡, 小澤, 金山, 西垣

附属 GK岡泉 DF河上, 堀内, 楠 MF奥村, 坂本, 青木, 加藤, 中田
FW石ヶ森, 大塚 交替/FP市中, 阿部恵, 田中

附属は全員が自陣でしっかりマークをつかみ、守備を固めようとするが、コンサはサイドから崩していく。1分には右クロス山田海がヘッドで落として前田が決めて先制。前田は、6分には中央からドリブルシュート。さらに19分には山室のセンタリングからシュートを決めて今大会2度目のハットトリックを完成する。後半附属は前線から積極的にプレスをかけるようになり、48分にはCKから青木がヘッドシュートを放つがポストに嫌われる。攻撃の手を緩めないコンサは、右サイドを志摩のクロスから得点を重ね、石岡がハットトリックするなど大量11点を奪った。

B 広陵 1 - 0 (1 - 0) 明星

得点者 小坂橋(18分)(広)

広陵 GK喜多 DF小野, 福井, 庄末, 深川 MF菅井, 松岡, 田中, 橋本
FW佐藤, 小坂橋 交替/FP太田, 斉藤, 伊藤, 富樫, 朝光, 大野

明星 GK菊川 DF藤川, 成田, 大平, 新山 MF田中, 大波, 下島, 久保,
FW大西, 鈴木 交替/GK黒田 FP片山, 米野, 柘丸, 大森

前半は互いに厳しいプレッシャーで切り替えの早い試合展開となる。徐々に広陵ペースとなるが、明星の堅い守りになかなかシュートまでもっていけない。18分広陵は右からのセンタリングを折り返し、中央から小坂橋が蹴りこみ先制する。その後は明星もペースを

つかみ攻め込むがゴールを奪えず前半終了。後半、1点を追う明星は下島の突破など優位に試合を進める。広陵はボールがうまく回らず苦しい展開をしいられる。終盤下島をトップにあげた明星は何度もチャンスを作るが、広陵が何とか守りきった。

神楽中学校

B 中富良野 1 - 0 (1 - 0) 神楽

得点者 斉藤(28分)(中)

中富良野 GK仲条 DF杉原, 岩本, 目黒 MF阿部, 岡, 堀本, 鈴木, 松田
FW斉藤, 吉武優 交替/FP佐藤, 吉武大, 大西

神楽 GK大村 DF小澤, 池上, 寺林, 綿谷 MF川上, 首藤, 斉藤, 谷口
FW仲, 白塚 交替/FP田村, 山村, 田畑, 石川

序盤は首藤がゲームを組み立てる神楽がボールを支配。左サイドの川上、池上のコンビネーションもよく、サイドを崩し、仲、白塚、首藤が好シュートを放つ。中富良野は堀本の縦パスからカウンター攻撃。スピードのある斉藤が神楽DFラインの裏をねらう。しかし、神楽もDFラインを小澤がよく統率。中富良野のスピードを封じ込めたかに思えた。28分中富良野は速攻から左サイドでボールを受けた阿部がセンタリング。相手守備陣の一瞬の隙をついて、FW斉藤がヘッドで流し込んで先制する。この1点でリズムの狂った神楽は、後半右サイドから攻撃をしかけるが、中富良野DFラインは目黒を中心によく対応。GK仲条も好守を見せ、1対0で競り勝った。

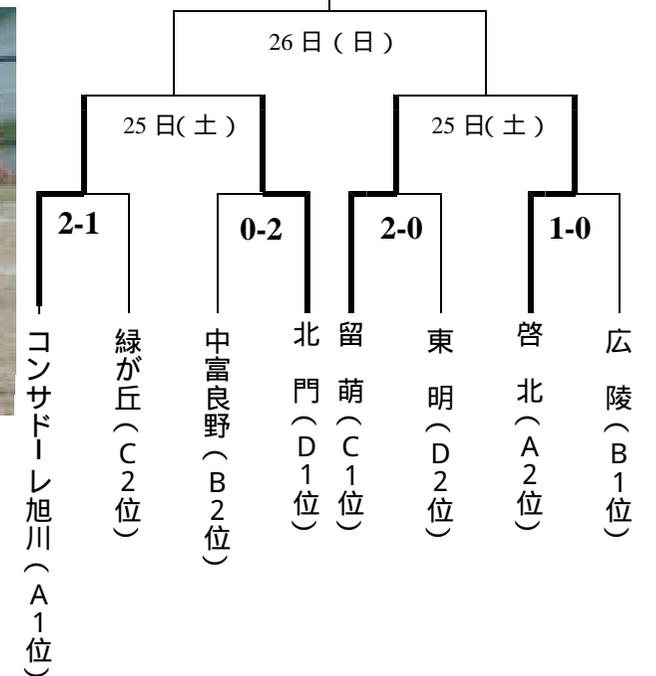
グループリーグA・B最終成績

A		コンサ	啓北	附属	パステ	勝点	得点	失点	差
1	コンサドーレ旭川		4-1	11-0	11-0	9	26	1	25
2	啓北	1-4		1-1	2-0	4	4	5	-1
3	附属	0-11	1-1		3-0	4	4	12	-8
4	パステーク	0-11	0-2	0-3		0	0	16	-16
B		広陵	中富良	明星	神楽	勝点	得点	失点	差
1	広陵		4-0	1-0	2-1	9	7	1	6
2	中富良野	0-4		1-1	1-0	4	2	5	-3
3	明星	0-1	1-1		2-2	2	3	4	-1
4	神楽	1-2	0-1	2-2		1	3	5	-2

決勝トーナメント



神楽vs中富良野
(神楽中学校)





留萌、緑が丘に続き、北門、東明が8強へ！ 第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月18日(土)にグループリーグ最終節が行われました。グループDでは、グループ1位を争って北門と東明が対戦。引き分けでも1位を確保できる北門は試合を優位に進め1対1で引き分けました。東明もこの引き分けで勝ち点5となり、グループ2位を獲得しました。グループCでは、消化試合となった愛宕と永山が行われました。しかし、3年生にとっては中学校生活最後の試合となるため、両チームひたむきにプレーし好試合となりました。結果は愛宕が逆転で永山を破り、有終の美を飾りました。

8月18日(土) 神楽中学校

C 愛宕 2 - 1 (0 - 1) 永山

得点者 大橋(43分)(愛) 松原(58分)(永)

警告 石崎(愛) 西本, 小林(永)

愛宕 GK二門 DF児島, 大橋, 森, 長尾 MF多田, 石崎, 工藤, 松原

FW庄司, 越智

永山 GK吉田 DF西本, 篠田, 小林

MF半田, 五十嵐, 庄野, 萩野, 海田

FW橋本, 上野 交替/F P高田, 佐藤芳

前半は海田のFKなどからチャンスをつかんだ永山ペース。20分には橋本がドリブルから相手DF二人をかわして先制ゴールをたたき込む。その後も、海田、上野を中心として永山が攻勢に出る。しかし、越智を攻撃の中心とする愛宕は、松原ら3年生のがんばりで試合のリズムを徐々に盛り返す。43分にはPKを大橋がきっちり決めて同点に追いつく。互いにチャンスをつかみあいながら、決めきれずドローかと思われた58分、愛宕は松原がペナルティエリアの手前からミドルシュート。これがGKの手をかすめ逆転ゴールとなる。試合は結局2対1で愛宕が勝利し、グループリーグ初白星をあげた。



コンサフィールド東川

D 永山南 11 - 0 (6 - 0) 上富良野

得点者 片山(1分), 巻口(5分, 39分, 48分), 山本(7分, 27分),

笠原(16分, 24分, 54分), 八重尾(36分, 45分)(永)

永山南 GK嵯峨 DF加藤, 渡辺, 原 MF稲沢, 西塚, 片山, 八重尾, 笠原

FW巻口, 山本 交替/F P小谷

上富良野 GK松下 DF芝田, 山内, 岩男, 藤崎 MF佐藤正, 伊藤, 畑中, 柳川, 柴谷

FW高松 交替/F P原田, 長藤, 村岡, 佐藤, 岩澤, 中田

立ち上がり1分永山南は八重尾が激しいプレスでボールを奪い、そのままドリブルでゴール前へパス。最初のビッグチャンスを片山が決めて先制する。5分には巻口、7分には山本が連続得点。一方的なゲームとなる。その後も笠原、山本が追加点をあげ、前半だけで6点差となる。後半も浅い上富良野のDFラインを永山南が何度も突破し、ゴールチャンスを作る展開が続く。八重尾、巻口が確実にゴールを重ねる。運動量と激しさで上富良野を上回った永山南が、巻口と笠原のハットトリックなどで11対0で快勝した。

D 北門 1 - 1 (1 - 0) 東明

得点者 中西(29分)(北) 垣見(49分)(東)

北門 GK斉藤 DF滝沢, 吉野, 尾崎 MF青野, 大西, 高橋哲, 角谷, 横澤

FW上村, 小出陣 交替/GK宮野 F P中西, 高橋龍, 原, 福野, 木沢, 鈴木

東明 GK小足 DF澤田, 中村, 杉原, 山中 MF徳廣, 木村, 阿部, 垣見

FW松井, 斉藤 交替/F P山口, 小川

試合開始より互いに相手の様子を探り合いとなる。高い集中力から厳しいプレッシャーの中、前半終了間際の29分、右サイドからのパスにペナルティエリア外でボールを受けた中西がロングシュートを決め、北門が先制する。後半東明が積極的にボールを奪いに行き、徳廣、木村を中心に追加点をねらうが得点できず。東明は49分左サイドからのパスを垣見が同点に追いつくロングシュートを決め、1対1のドローに持ち込んだ。



グループC・D最終結果

C		留萌	緑が丘	愛宕	永山	勝点	得点	失点	差
1	留萌	-	0-0	4-1	3-1	7	7	2	5
2	緑が丘	0-0	-	2-0	0-0	5	2	0	2
3	愛宕	1-4	0-2	-	2-1	3	3	7	-4
4	永山	1-3	0-0	1-2	-	1	2	5	-3
D		北門	東明	永山南	上富良野	勝点	得点	失点	差
1	北門	-	1-1	2-1	9-0	7	12	2	10
2	東明	1-1	-	0-0	5-1	5	6	2	4
3	永山南	1-2	0-0	-	11-0	4	12	2	10
4	上富良野	0-9	1-5	0-11	-	0	1	25	-24

第4回U-14 8人制大会日程決定

本年度からステージ制を取り、総当たり4回戦制で行われるU-14 8人制サッカー大会の日程が発表となりました。全道大会の締め切りが9月24日のため、第3ステージ終了時点での首位チームが代表権を獲得するという変則の大会規定ですが、人数は少ないけれど、各チームはそれも吹き飛ばす好試合を見せてくれるでしょう。

U-14 8人制サッカー大会 R A R

第1ステージ 8月26日(日)

神居東中学校 MC高原(神居東)

9:30 神居東vsバステークR港南 A上川

10:15 港南vs上川 R神居東 Aバステ

11:00 神居東vs港南 Rバステ Aバステ

11:45 バステークvs上川 R神居東 A港南

12:30 神居東vs上川 Rバステ Aバステ

13:15 バステークvs港南 R神居東 A上川

第2ステージ 9月17日(月)

留萌開催 MC石垣(港南)R留萌協会予定

9:30 港南vs上川 Aバステ

10:15 神居東vsバステーク A港南

11:00 神居東vs港南 A上川

11:45 バステークvs上川 A神居東

12:30 バステークvs港南 A神居東

13:15 神居東vs上川 Aバステ

第3ステージ 9月24日(月)

神居東中学校 MC高原(神居東)

9:30 上川vs神居東 Rバステ Aバステ

10:15 バステークvs港南 RA神居東

11:00 上川vs港南 Rバステ A神居東

11:45 バステークvs神居東 R港南 A上川

12:30 上川vsバステーク R神居東A港南

13:15 港南vs神居東 Rバステ A上川

第4ステージ 10月14日(日)

当麻 MC佐藤(当麻)

9:30 バステークvs港南 R神居東A上川

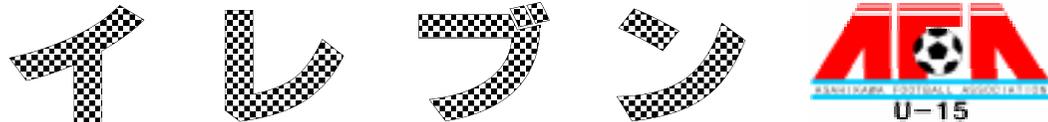
10:15 上川vs神居東 Rバステ A港南

11:00 バステークvs神居東 R港南 A上川

11:45 上川vs港南 Rバステ A神居東

12:30 港南vs神居東 Rバステ Aバステ

13:15 上川vsバステークR神居東 A港南



コンサ、北門、留萌、啓北がベスト4へ！ 第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月19日（土）と23日（木）に準々決勝4試合がコンサフィールド東川を会場に行われました。19日は3試合が行われ、第1試合ではグループBを圧倒的強さで勝ち上がった広陵が啓北の堅い守備を崩せず敗れるという波乱がありました。第2試合は北門が中富良野を圧倒し、順当な勝ち上がり。第3試合は好試合となりましたが、留萌がカウンターから東明を破る2ゴールをあげ、ベスト4に勝ち残りました。緑が丘の全国中学出場のために延期されていた残り1試合は23日にナイトゲームで行われ、コンサドーレ旭川が2対1で緑が丘を振り切り、連覇に向けて一歩進みました。

準々決勝

8月19日（日）コンサフィールド東川

啓北 1 - 0 (1 - 0) 広陵

得点者 高橋竣 (16分)

啓北 GK永井 DF酒井、高橋竣、秋島、干場 MF笠原、茂木、山内、池田、保田

FW藤原

広陵 GK喜多 DF小野、福井、庄末、深川 MF菅井、松岡、田中、小坂橋

FW佐藤、橋本 交替/FP斎藤

主審/砂川（協会） 副審/松山（コンサ）、鈴木（中富良野） 第4審/佐藤（永山南）

序盤は啓北が山内、茂木の中盤が機能し、攻勢に出、山内がポストにあたるシュートを放つなどチャンスをつかむ。しかし、福井、庄末のCBは堅く、次第に広陵は小坂橋、橋本にボールが集まり始め、ゲームを盛り返す。しかし、啓北も秋島、高橋竣、酒井のDF陣が踏ん張り、なんとかしのぐ。16分啓北は高橋竣がセンターサークル付近でGKの位置を見て、思い切りよく約40mの距離からシュート。ボールはGKの頭上を越えゴールネットに吸い込まれて啓北が先制する。後半は松岡、福井が中盤で奮闘し、ボールを支配してゲームを進めるが、啓北茂木、山内らの速いプレッシャーに対してなかなかゴールへの糸口がつかめない。また、小坂橋らがサイドからえぐってちゃんすをつくりだすが、GK永井の好判断で得点できない。終盤庄末を中盤にあげて追いかける広陵だったが、啓北の守備の集中力も途切れずタイムアップとなる。



北門 2 - 0 (2 - 0) 中富良野

得点者 青野 (1分)、小出陣 (8分) (北)

警告 横澤 (北) 斎藤 (中)

北門 GK斎藤 DF滝沢、吉野、尾崎 MF青野、大西、高橋哲、横澤、高橋龍

FW上村、小出陣 交替/FP中西

中富良野 GK仲条 DF杉原、岩本、目黒

MF吉武大、佐藤、阿部、堀本、鈴木、松田

FW斎藤、岡

交替/FP大西、吉武優、鈴木、石神

主審/砂川（協会） 副審/日里（啓北）、斎藤（留萌）

第4審/賀谷（コンサ）

開始1分北門は青野がミドルシュートを決めて早くも先制する。さらに8分には小出陣がゴール前のこぼれ球を蹴りこんで追加点をあげる。早々の2得点で北門の快勝かと思われたが、中富良野はここからふんばる。堀本が中盤でボールを収め、前線の斎藤を走らせ



る。阿部や右サイドの佐藤もチャンスにからんで、一進一退の攻防となる。北門は横澤が中盤の底でボールを拾い、左サイドの大西から攻撃をしかける。小出陣、上村のツートップが何度もゴールに迫るが、DF目黒、杉原を中心とした中富良野のがんばりにあい追加点を奪えない。終盤中富良野はサイドを崩し、ビッグチャンスをつかむが、1点を返すことができずに北門が2対0で勝利した。

留萌 2 - 0 (0 - 0) 東明

得点者 千葉 (51分、59分) (留)

留萌 GK佐藤 DF里見、中土井梨、生出、渡瀬 MF吉田幸、斎藤、神田、千葉

FW伊藤、吉田拓 交替/高田

東明 GK小足 DF澤田、中村、杉原、山中 MF松井、徳廣、木村、阿部

FW斎藤、垣見 交替/FP小川

主審/矢倉（協会） 副審/添田（広陵）、川口（コンサ） 第4審/則末（啓北）

序盤からボールの支配は東明。徳廣が中盤を突破し、右サイドに流れた木村の崩しから、左サイドの松井に渡ってチャンスをつかむ。しかし、危険な場所には必ず顔を出す留萌里見のカバーリングにあい、どうしても得点があげられない。留萌は吉田拓、吉田幸を中心に千葉、神田の両サイドからカウンターで対抗するが、東明も中村、澤田の両CBがよく対応する。徐々に運動量が落ち始めた留萌の中盤のスペースをつき、徳廣がスループスを前線に送り出す。しかし、留萌のGK佐藤が鋭い飛び出しで防ぎ、前半は0対0で折り返す。後半開始直後は澤田が右サイドに進出し、ロングフィードで留萌DF陣を押し込む。しかし、留萌里見が前半同様ピンチの芽を確実につみとる。GK佐藤も1対1の場面を何度もシュートブロックで防ぐ。この時間帯をしのいだ留萌は51分、神田の左からの折り返しをフリーの千葉が右足のインサイドで見事に合わせて待望の先制点をあげる。必死に攻撃する東明に対して生出もよくふんばり得点をあげさせない。逆に留萌は59分クリアミスをついて千葉が右足で蹴りこんで駄目押しの追加点をあげた。



8月23日（木）コンサフィールド東川

コンサドーレ旭川 2 - 1 (2 - 0) 緑が丘

得点者 大沼 (12分)、山田海 (21分) (コ) 宮下 (47分) (緑)

警告 滝口 (緑) 山室 (コ)

コンサ GK宮崎 DF大沼、河本、那須、越川 MF宮本、大野、山田陽、山田海

FW前田、山室 交替/GK今岡 FP志摩、小澤

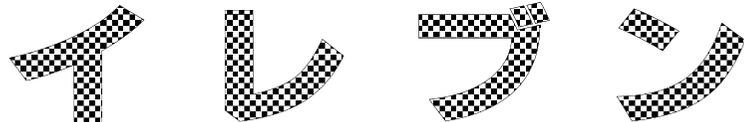
緑が丘 GK薦 DF滝口、中村、中島、近江 MF三浦、鷹橋、佐藤慶、宮崎

FW山口、永田 交替/FP杉本、栗山、宮下

主審/西川（永山南） 副審/對馬（東神楽）、添田（広陵） 第4審/則末（啓北）

序盤からコンサがゲームを支配する。中盤の底で山田陽がボールを拾い、両サイドに展開。右の大野、左の宮本からワイドな攻撃を繰り返す。緑が丘は中村、中島を中心に守備に重点をおく布陣。時にはペナルティエリア付近に9人が戻って対応する。この厚い壁をなかなか破れなかったコンサはセットプレーから打開を試みる。FKから山田海、大野が惜しいシュートを放つ。12分コンサはそのFKから先制する。那須が左サイドのFKをゴール前に入れると、緑が丘DFがヘッドでクリア。そのボールを大沼がダイレクトでボレーシュート。ボールは見事に左サイドネットにたたき込まれた。さらに21分には山田海が前田の左からのFKへヘッドで合わせて2点目を奪う。緑が丘は鷹橋を起点にカウンターから得点機をねらうが、河本、大沼のコンサCBにはじき返される。後半1点を返したい緑が丘は鷹橋を中心に開始早々攻勢にで、宮下がゴールに迫るがGK宮崎の攻守にあう。コンサにしのがれた緑が丘だが、47分鷹橋が自陣からDFラインの裏へスループス。宮下が飛び出したGKの頭上を破る約30mのルーブシュートを決めて1点差とする。1点は返されたもののコンサの攻勢はかわらず、宮本、那須の左サイドの崩しから、前田、山室、山田海がゴールに迫るが追加点を奪えず。しかし、緑が丘の攻撃は河本、大沼が対処し2対1でコンサが準決勝に進んだ。





コンサと留萌が全道大会の切符を獲得！ 第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月25日(土)準決勝が花咲球技場で行われました。第1試合はコンサドーレ旭川と北門が対戦。コンサドーレが終始ボールを支配しましたが、北門も堅い守りで対抗。コンサドーレは山田海のプレーから相手のオウンゴールを誘って奪った17分の1点を守りきり、決勝へと進みました。第2試合は啓北と留萌が対戦。1点を争う好ゲームとなった試合は啓北が49分に保田のゴールで先制します。しかし、留萌は66分に吉田拓のゴールで同点に追いつくと、延長戦に入り吉田幸が決勝点を決め3対1で啓北を振り切りました。2チームは来月15日から行われる全道ユース(U-15)に出場します。

準決勝 8月25日(土) 花咲球技場
コンサドーレ旭川 1 - 0 (1 - 0) 北門
得点者 0・G(17分)

コンサ GK宮崎 DF志摩、大沼、河本、那須 MF宮本、越川山田陽、山田海
FW前田、山室 交替/F P大野、小澤、金山、石岡、西垣
北門 GK斉藤 DF滝沢、吉野、横澤、尾崎 MF青野、大西、上村、高橋哲、中西
FW小出陣 交替/F P角谷、高橋龍、遠藤
主審/伊藤(協会) 副審/添田(広陵)、山本(聖園) 第4審/宮越(永山南)

【戦評/遠山(東川)】

立ち上がりDFラインでゆっくりとビルドアップし、相手の出方をうかがうコンサに対し、北門はFW小出陣の1トップで臨む。コンサは前田、山室のポストプレーをからめながら、DF志摩が中盤の右サイドに大きく張りだし、右サイドから崩しにかかる。ゾーンをしっかりと固める北門に対し、コンサは中2日での疲れもあるのか、縦への動きにいつも速さがなく、互いにしかける場面が少ないため、シュートがなかなか生まれません。9分コンサMF山田陽がペナルティエリア右手前でポストに入るが、北門DFの対応が瞬遅れドリブルからシュートを放つも右に大きく外れる。13分コンサはCKを得るもチャンスとはならない。FWのポストプレーが機能し始めたコンサに得点の機会が訪れたのは17分、ペナルティエリアでボールを受けたFW山田海が振り向きドリブル。ゴール左からシュートを放つと、北門GKが飛び出すとかわれず、DFの足に当たってゴールイン。コンサが先制する。先制を許した北門だが、しっかりとゾーンを固め、コンサに追加点を許さない。しかし、DFに人数をさいているため、中盤でコンサにボールを回される場面が続く。だが、コンサのしかけにスピードが欠けていることもあり、決定的なチャンスは生まれません。守りを固めた北門が後半に望みをつなぎ前半は終了。

後半、二人を交替したコンサは立ち上がりからスピードのある攻撃を展開する。37分左サイドをえぐり上がったクロスを超川がシュートするが枠にいかない。さらに38分またも左からのクロスで混戦となったボールを大野がゴールエリアでキープ、GKをかわしシュートを放つがポストに当たる。決定機を逃したコンサに対し、北門は徐々



に攻撃の糸口をたくり寄せる。上村がFWに上がり、2トップに戻したこともあり、前線にボールが収まりだし、中盤の青野、大西が押し上げることで攻撃に厚みを増し、シュートにこそ至らないものの、コンサのペナルティエリアにまで迫る展開が見られるようになる。40分、中盤から右サイドに出たボールにオーバーラップした吉野がドリブルで駆け上がり、コンサDFをかわしクロスがあがればという場面をつくる。これでコンサの高いDFラインが下がり気味になり、北門の選手も中盤でドリブルできるようになり互角の展開が続く。50分前を向いた小出陣にボールが入り、北門がチャンスを得る。ドリブルで駆け上がりシュート体勢に入るもコンサDFがブロック。CKに逃れる。70分という試合時間に疲れが見え始め、コンサも三人の選手を投入、60分過ぎから再び運動量をあげた攻撃に出る。左サイドでボールを受けた山田海がドリブルでえぐり、クロスをおげ大野に合わせもののシュートを打てず、戻したボールを志摩が強烈なシュートを放つがクロスバーにあたる。後半の攻撃にかけた北門だったが、コンサの厚いDFに一歩及ばず、1対0でコンサが連覇をかけた決勝への進出となった。

留萌 3 - 1 (0 - 0, 延2 - 0) 啓北

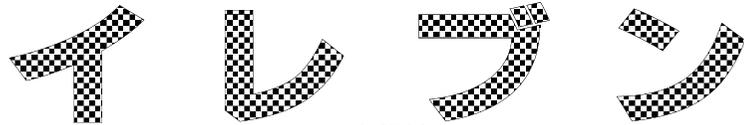
得点者 吉田拓(66分, 78分) 吉田幸(75分) (留) 保田(49分) (啓)
留萌 GK佐藤 DF里見、中土井梨、生出、渡瀬 MF吉田幸、高田、神田、千葉
FW伊藤、吉田拓 交替/斉藤
啓 北 GK永井 DF酒井、高橋峻、秋島、干場 MF笠原、茂木、山内、池田、保田
FW藤原 交替/GK石田 FP藤村、斉藤
主審/原口(協会) 副審/遠藤(協会)、飛世(東明) 第4審/南向(春光台)
【戦評/鈴木(愛宕)】

準決勝第2試合は厳しい試合をものにしてきた留萌と、1、2年生のがんばりと粘りで勝ち上がってきた啓北の対戦。序盤は前線のスピードを生かしてシンプルに放り込む留萌と中盤をていねいにつなぎFW藤原に収めようとする啓北との五分の展開。7分啓北は右CKに茂木が走り込みドンピシャのヘディングシュートを見せるが、GKがはじきノーゴール。これを契機に啓北がリズムをつかむ。スピードでは留萌が勝るものの、寄せの速さとしつこいDFで留萌の攻撃を封じる。攻めあぐねる留萌は20分、FW吉田拓がドリブルからロングシュートを放ちひやりとさせるが、惜しくもゴールバーの上を外れる。終盤啓北は再三サイドからゴール前に山内がいいボールが入るが、DF里見のカバーリングもあり、シュートに至ることができない。30分留萌はカウンター気味にDFの裏にでたボールを吉田拓がゴール手前で追いつき、強烈なシュートを放つが、GK永井が両手ではじきグッドセーブで前半を折り返す。

後半留萌は中盤から両サイドの縦のスペースへの長いボールを入れそこから折り返しを狙う。啓北は43分CKからのこぼれ球を藤原がワンドリブルし、左足でシュートするが枠をとらえられず。48分にも啓北は山内がテクニックを生かしたドリブルで左サイドからペナルティエリアにもちこみ、藤原に合わせるが枠を外れる。絶好のチャンス逃したのもつかの間、49分啓北はMF池田が左サイドを持ち上がり、中に折り返すとMF保田がシュート。ジャストミートできなかったが、ボールは強烈な回転がかかり、ころころと転がりながらネットを揺らした。1点のピハインドになった留萌は終盤に入り、得意のカウンター攻撃をしかけるが、高橋峻、秋島、酒井を中心とした啓北DFの必死の守りでシュートできず。65分留萌は生出、吉田幸のパスワークから走り込んだ吉田拓にDFの頭を越えるロビングボールでつなく、吉田拓はファーストタッチで切り返し、GKの頭を越える技ありのシュートで追いつく。勢いづく留萌は69分、吉田拓がGKと1対1になるが、GK石田のファインセーブで得点ならず。試合はそのまま延長戦に突入する。

延長前半終了間際、留萌はMF斉藤のパスを受けた吉田幸がゴール前35m付近からこぼれ球をロングシュート。ボールは矢のようにゴールに突き刺さる。延長戦後半には、吉田拓、千葉のワンツーで啓北のDFラインを抜き、最後は吉田拓が駄目押し3点目をあげ、全道大会出場を決定づけた。





コンサドーレ旭川ユースU-15が連覇を達成！ 第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月26日（日）に旭川大学高校を会場に決勝が行われました。すでに、全道大会の出場権を得ている両チームですが、旭川大雪ライオンズクラブ旗を目指して懸命のプレー。コンサは前半山田海が先制点を奪うと後半怒濤の攻撃を見せ、4得点。留萌も吉田拓が1点を返しましたが及ばず。5対1でコンサドーレ旭川ユースU-15が勝ち、昨年度に続いて2連覇を達成すると共に、昨年度からの連続優勝を5大会連続（プレミアカップを含めると6大会連続）としました。

決勝 8月26日（日） 旭川大学高校
コンサドーレ旭川 5 - 1 (1 - 0) 留萌
得点者 山田海（17分、45分）、前田（39分）、山室（51分）、小澤（52分）（コ）
吉田拓（62分）（留）

警告 河本（コ）
主審/遠藤（協会） 副審/名平（協会）、伊藤（協会） 第4審/目黒（神楽）
コンサ GK宮崎 DF志摩、大沼、河本、那須 MF宮本、越川山田陽、山田海
FW前田、山室 交替/F P/大野、金山、石岡、小澤、西垣
留萌 GK佐藤 DF里見、中土井梨、生出、渡瀬 MF吉田宰、斉藤、神田、千葉
FW伊藤、吉田拓 交替/高田

【戦評/久世（六合）】
決勝はイレブン杯春季リーグと同一にカードとなった。試合開始早々コンサは左サイド

からのセンタリングにFW前田がファーポストでヘディングシュートを放つ。このシュートを留萌DF里見がクリアする。この攻撃のようにボールを支配し、中央から山室、山田海、両サイドから宮本、前田が次々と攻撃をしかけるコンサは、6分DF河本からのロングパスに前田が反応し、決定機となるかと思われたが、オフサイドの判定。その後も攻撃を続けるコンサであったが、留萌DF陣が集中してゴールを守る。9分留萌はハーフウェー付近で吉田拓が奪ったボールをゴール前に走り込んだMF斉藤からMF千葉へとダイレクトでつなぎ、千葉が右サイドからもちこんでシュートを放つがゴール左へ外れる。コンサが優勢に試合を進める中、17分ゴール前でパスを受けた前田がシュート、留萌DFがブロックするが、こぼれたボールを山田海が冷静に決めて先制点を奪う。守備を固める留萌に対して、追加点を奪えないコンサは、志摩のオーバーラップやMF越川のミドルシュートから得点を狙うが、ゴールできずに前半は1対0のリードで終える。



後半も攻勢に出るコンサは開始直後の36分山田海が中央からドリブルし、左から上がった宮本へパスを送るがシュートは枠を外れる。しかし、前半同様、ボールポゼッションで勝るコンサは次々とチャンスを作り出す。39分再び山田海のドリブルからパスを受けた前田がゴール正面からシュートを決め追加点を奪う。45分には、山田海がDFからのクリアボールを拾って、ドリブルで留萌DFをかわしゴール右からシュートを決める。51分にも右サイド深い位置から大野がグラウンダーでセンタリングしたボールをFW山室が合わせて4点目を決める。攻撃の手を緩めないコンサは、交替で入ったFW小澤が52分にゴール正面でボールを受け5点目となるシュートを決める。後半から積極的にドリブルでしかけるコンサに対して、留萌D



F陣の寄せが甘くなったところを次々と得点し、留萌を突き放す。一矢を報いたい留萌は前線に吉田拓を残し、反撃を試みる。62分コンサエリアでパスを受けた留萌吉田拓がターンしながらDFをかわし、ゴール正面から緑シュートを放つ。やや前にポジションしていたコンサGKの頭上を越え、ゴールに吸い込まれ1点を返した。最後まであきらめることなく戦った留萌だが、反撃もここまで。実力に勝るコンサドーレ旭川が勝ち、2年連続の優勝を飾った。

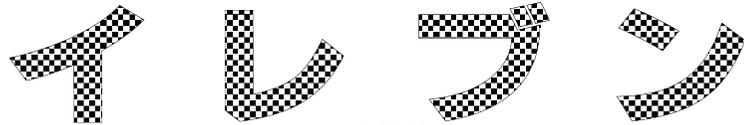


連覇を果たしたコンサドーレ旭川ユースU-15



春のイレブン杯に続いて準優勝を飾り全道大会への出場権を得た留萌市立留萌中学校
大会の言記録

- | | | | |
|-------|------------------------|-----------|--------------|
| 優勝 | コンサドーレ旭川ユースU-15 | 第3位 | 旭川市立北門中学校 |
| 準優勝 | 留萌市立留萌中学校 | 第4位 | 旭川市立啓北中学校 |
| 得点王 | 前田 翔貴（コンサドーレ旭川U-15 3年） | 9得点 | |
| ベスト11 | | | |
| GK宮崎 | 隆徳（コンサドーレ旭川3年） | DF秋島伊代奈 | （啓北中学校3年） |
| DF庄末 | 優（広陵中学校3年） | DF福井 潤 | （広陵中学校3年） |
| DF大沼 | 太基（コンサドーレ旭川3年） | DF澤田 慎太郎 | （東明中学校3年） |
| DF河本 | 恭孝（コンサドーレ旭川3年） | DF中島 一 | （緑が丘中学校2年） |
| DF里見 | 洋輔（留萌中学校3年） | DF目黒 燎 | （中富良野中学校3年） |
| MF山内 | 琢磨（啓北中学校2年） | MF松岡 史記 | （広陵中学校2年） |
| MF徳廣 | 泰貴（東明中学校3年） | MF海田 健 | （永山中学校3年） |
| MF鷹橋 | 秀（緑が丘中学校3年） | MF八重尾 竜次朗 | （永山南中学校3年） |
| MF宮本 | 恭兵（コンサドーレ旭川3年） | MF大西 剛史 | （北門中学校3年） |
| FW前田 | 翔貴（コンサドーレ旭川3年） | MF横澤 知季 | （北門中学校3年） |
| FW吉田 | 拓真（留萌中学校3年） | MF下島 俊 | （明星中学校3年） |
| 優秀選手 | | MF堀本 浩希 | （中富良野中学校3年） |
| GK二門 | 宏光（愛宕中学校3年） | MF千葉 健斗 | （留萌中学校3年） |
| GK佐藤 | 拓斗（留萌中学校3年） | MF吉田 宰 | （留萌中学校3年） |
| DF池上 | 授（神楽中学校3年） | FW上村 英樹 | （北門中学校3年） |
| DF高橋 | 竣也（啓北中学校2年） | FW山田 海 | （コンサドーレ旭川3年） |



北門が第3位を獲得する。 第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第14回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月26日(日)に旭川大学高校を会場に第3位決定戦が行われました。試合は啓北が先制しましたが、後半北門が逆転し3位の座を獲得しました。

3位決定戦 8月26日(日) 旭川大学高校
北門 2 - 1 (0 - 1) 啓北
得点者 小出陣(43分)、中西(46分)(北) 茂木(15分)(啓)
北門 GK 斉藤 DF 滝沢、吉野、尾崎 MF 横澤、青野、大西、高橋哲、原
FW 小出陣、上村 交替/GK 福野 FP 遠藤、中尾、角谷、中西、高橋龍、
木沢、鈴木
啓北 GK 石田 DF 酒井、高橋竣、秋島、干場 MF 笠原、茂木、山内、池田、保田
FW 藤原 交替 FP 藤村、斉藤、西根、佐々木
主審/伊藤(協会) 副審/原口(協会)、石川(協会) 第4審/西川(永山南)

【戦評/久世(六合)】

3位決定戦は、1・2年生を主体としたメンバーながら延長戦で惜しくも敗れた啓北と、コンサドーレに1対0の僅差で決勝進出を逃した北門の対戦となった。試合開始から両チームともに中盤でのプレーエリアが強風のためワンスайдに偏り、狭いDFの間を狙って突破を図るが決定機を作れない。10分を過ぎた頃から、北門はFW上村のドリブル突破から小出陣へスルーパスを通じ、シュートチャンスを作るが、高橋竣、秋島ら啓北ディフェンスの集中した守備に阻まれる。一方啓北は左サイドの池田が度々スペースをドリブルで駆け上がり、センタリングを試みる。先制点は啓北池田のドリブル突破から生まれる。池田のドリブルを北門DFが止めたが、再度啓北MF茂木が奪い、ドリブルで攻め上がってCKを得る。左からの酒井のCKを北門GKがフィステリング、そのこぼれ球をMF茂木がダイレクトでシュート。ボールは北門DFに当たり角度が変わってゴールに飛び込んだ。前半は次第にサイドのスペースを効果的に使い始めた啓北がリードしたまま終える。



後半は北門MF青野、大西が攻め上がり、シュートに持ち込もうとするがタイミングを逸する。一進一退の攻防が続く中、43分北門は相手ペナルティエリア中央での大西と横澤のパス交換から、DFラインの間の小出陣へスルーパスが出る。小出陣はワンタッチで前を向き、シュートをゴールに突き刺した。次第に流れをつかんだ北門は、右サイド深い位置で得たスローインのボールをMF中西が受け、啓北DFをかわしてゴールに向かい、角度のないところからシュートを決め逆転する。そ



の直後に啓北はDFからのロングパスを受けた山内が右サイドのフリーなスペースをドリブルで駆け上がりシュートを放つ。北門GKは弾いたボールをFW藤原がつめるが、北門DF滝沢がからくもクリアする。その後はお互いに決め手を欠き、2対1で北門が勝利した。啓北は落ち着いてパスをつなぎ、前半リードしたものの、後半に入ってやや運動量が落ちたところを北門が逃さずチャンスを生かした試合であった。



3位の座を獲得した旭川市立北門中学校



1・2年生中心で旋風を起こした旭川市立啓北中学校

北原旭川大雪ライオンズクラブ会長からの優勝旗授与



得点ランキング

1. 前田 翔貴 (コンサドーレ旭川3年) 9点
2. 山田 海 (コンサドーレ旭川3年) 7点
3. 小出 陣 (北門中学校3年) 5点
- 小澤 宥太 (コンサドーレ旭川3年)
4. 小坂 橋宏紀 (広陵中学校3年) 4点
- 石岡 託摩 (コンサドーレ旭川3年)
- 千葉 健斗 (留萌中学校3年)
- 吉田 拓真 (留萌中学校3年)
5. 垣見 尚吾 (東明中学校3年) 3点
- 笠原 和耶 (永山南中学校3年)
- 巻口 司 (永山南中学校3年)
- 八重尾 竜次朗 (永山南中学校3年)
- 大西 剛史 (北門中学校3年)
14. 山内 琢磨 (啓北中学校2年) 2点
- 茂木 義也 (啓北中学校2年)
- 松原 順哉 (愛宕中学校3年)
- 橋本 竜馬 (永山中学校3年)
- 山本 真司 (永山南中学校1年)
- 高橋 哲弥 (北門中学校3年)
- 青野 伸哉 (北門中学校3年)
- 中西 真斗 (北門中学校2年)
- 中田 真樹 (附属旭川中学校2年)
- 山室 伸之輔 (コンサドーレ旭川3年)
- 大沼 太基 (コンサドーレ旭川3年)
- 那須 智也 (コンサドーレ旭川3年)
- 斉藤 一也 (中富良野中学校2年)
- 吉田 幸 (留萌中学校3年)
- 神田 理希 (留萌中学校3年)

コンサドーレ旭川ユース U-15

